阿南工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	言語と文学	
科目基礎情報						
科目番号	0009	科目区分	一般 / 選択			
授業形態	授業	単位の種別と単位数	: 2			
開設学科	専攻科共通 (平成30年度以前入学生)	対象学年	専2			
開設期	前期	週時間数	前期:2			
教科書/教材	高専日本語アビリティ I・II (阿南高専)					
担当教員	坪井 泰士, 錦織 浩文					
到達目標						
1. 近代の小説・評論等に描かれた人物やものの見方、時代背景を理解して共有し、新たな発想や視点を獲得し、自分の思いや考えを整理し、深化させて説明できる。 2. 代表的な和歌文学についての時代背景を理解し、その表現の特徴、文化的価値について説明できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限の到達レベルの目安(可)			
評価項目1	近代の小説・評論等に描かれた人物やものの見方、時代背景を理解して共有し、新たな発想や視点を獲得し、自分の思いや考えを整理し、深化させて説明できる。	近代の小説・評論等に描かれた人物やものの見方、時代背景を理解して共有し、新たな発想や視点を獲得し、自分の思いや考えを整理し、深化させて適切に説明できる。	近代の小説・評論等に描かれた人物やものの見方、時代背景を理解して共有し、新たな発想や視点を獲得し、自分の思いや考えを整理し、深化させて説明できる。			
評価項目2	代表的な和歌文学についての時代背景を理解し、その表現の特徴、文化的価値について自分の考えを加えて適切に説明できる。	代表的な和歌文学についての時代背景を理解し、その表現の特徴、文化的価値について適切に説明できる。	代表的な和歌文学についての時代背景を理解し、その表現の特徴、文化的価値について説明できる。			
評価項目3						
評価項目4						
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	日本文学の作品と表現を中心的対象として、著者および作品の執筆された時代背景、作品の表現・構成、表現効果などの観点から主題を理解する能力を培う。また、その理解を伝え合う経験を通して、論理的な理解とコミュニケーションの能力、主体的表現、合意形成の力を深める。					
授業の進め方・方法	近代の小説・評論等は坪井が担当し、代表的な和歌文学は錦織が担当して授業を行う。【オムニバス方式】					
注意点	日本語総合、日本語の表現を履修していることが望ましい。					
授業計画						
	週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	近代小説 [坪井]	著者および作品の執筆された時代背景、作品の表現・構成、表現効果などの観点から主題を理解する。		
		2週	近代小説 [坪井]	著者および作品の執筆された時代背景、作品の表現・構成、表現効果などの観点から主題を理解する。		
		3週	近代小説 [坪井]	主題への理解の共有をとおして、論理的な理解とコミュニケーションの能力、主体的表現、合意形成の力を深める。		
		4週	ファシリテーション [坪井]	社会的テーマについて、情報の収集・整理にもとづき、ファシリテーションできる。		
		5週	ファシリテーション [坪井]	社会的テーマについて、情報の収集・整理にもとづき、ファシリテーションできる。		
		6週	ファシリテーション [坪井]	社会的テーマについて、情報の収集・整理にもとづき、ファシリテーションできる。		
		7週	ファシリテーション [坪井]	ファシリテーション手法について、他のコミュニケーションとの相違点をふまえて整理し、説明できる。		
		8週	前期中間試験 [坪井]			
	2ndQ	9週	万葉集 (讃歌) [錦織]	讃歌の特徴を理解し、実作を通して確かめることができる。		
		10週	万葉集 (短歌連作) [錦織]	短歌連作の方法を理解し、実作を通して確かめることができる。		
		11週	万葉集 (相聞) [錦織]	相聞の特徴を理解し、実作を通して確かめることができる。		
		12週	万葉集 (挽歌) [錦織]	挽歌の特徴を理解し、実作を通して確かめることができる。		
		13週	古今集と新古今集 [錦織]	古今集、新古今和歌集の特徴を理解し、実作を通して確かめることができる。		
		14週	近代・現代短歌 [錦織]	代表的な近代・現代短歌の意味を理解し、実作を通して確かめることができる。		
		15週	近代・現代短歌 [錦織]	代表的な近代・現代短歌の意味を理解し、実作を通して確かめることができる。		
		16週	答案返却 [錦織]			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
評価割合						
	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	合計
総合評価割合	35	0	35	30	0	100

基礎的能力	25	0	35	15	0	75
專門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	10	0	0	15	0	25